

外国語
(英語)

教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果

東書

1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

生徒の興味関心を引くものや今日的課題を中心に構成されており、言語や文化に対する理解を深めることを視野に入れた作りになっている。内容からみると、自由と規範意識(3年 Unit 4 To Our Future Generationsなど)、自己判断・責任(3年 Unit 6 Striving for a Better World、3年 Further Reading 1 Sato Mami Making the Best of Lifeなど)、真理と正義(3年 Further Reading 2 Malala Yousafzai Education Firstなど)、公共の精神(2年 Unit 5 Universal Design)、豊かな人間性と創造性(3年 Unit 1 Pop Culture Then and Nowなど)、グローバル化および我が国の郷土と伝統(1年 Unit 5 学校の文化祭、2年 Unit 4 Homestay in the United States、2年 Unit 6 Rakugo in English、3年 Unit 2 From The Other Side of the Earthなど)、バランスのとれた内容である。<①②③④⑤⑥⑦>
また、学力の向上については4技能の総合的な能力の育成に配慮がなされている。道徳性・社会性の向上については自己の確立や他社との関わりを大切にしながら、国際人としての必要な考え方について道徳的視点から気づきをあたえることができる題材を採用している(2年 Let's Read 1 The Carpenter's Gift、3年 Future Reading 2 Malala Yousafzai Education Firstなど)。また、特別支援教育への配慮は題材の中に2年 unit 5 Universal Designを取りあげている。大阪市の目標である英語の話せる15才の育成や英検取得をめざすためのバランスのとれた教科書である。<⑧⑨⑩>

2. 教育基本法に基づく観点

グローバル化を視野に入れた資質・能力の育成のために英語力の基礎を「技能」としてとらえ、世界の中の日本を意識した作りである。教育基本法の観点から、幅広い知識・教養(3年 Unit 1 Pop Culture Then and Now、3年 Unit 6 Striving for a Better Worldなど)、個人の価値の尊重(2年 Unit 5 universal Designなど)、正義と責任・男女平等(3年 Unit 6 Saving for a Better Worldなど)、生命・自然の尊重(2年 Unit 7 the Movie Dolphin Tale、2年 Let's Read 3 Cooking with the Sunなど)、伝統文化の尊重・国際社会(1年 Unit 5 学校の文化祭、2年 Unit 4 Homestay in the United States、2年 Unit 6 Rakugo in English、3年 Unit 2 From The Other Side of the Earthなど)の点を重視し、バランスの取れた構成になっている。<①②③④⑤>

3. 学習指導要領に基づく観点

3学年を通じて、「聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと」の4技能のコミュニケーション能力の基礎の向上をめざした構造になっており、Unit(文法と語彙)⇒Daily Scene(コミュニケーション活動)⇒Presentation(自己表現)の構成になっている。各Unit 左ページには本文・新出語句、右ページには基本文、基本練習、技能別の練習問題が配置され、4技能の基礎学習に配慮されている。<②③④⑤>
Presentationでは習得した英語を活用する場面が設定されており、自分やグループで考えた内容を発表することや、コミュニケーション能力の基礎を養うよう配慮されている。また、身近なことや学校行事とも関連させながら取り組めるようになっている。<①⑥> 取り扱われる題材としては、「カレー、サッカー、ハリーポッター」があり、身近にある世界との文化比較やスポーツを多く取り入れており、「キャリア教育・環境福祉・防災・情報化・人権平和・自然科学・物語・人物」などのテーマが採用されている。また、1年生の最初は音声活動が多く、小学校から引き継ぎができるように配慮されているとともに、英語の歌が2曲入っているのが特徴である。楽しく英語が学べるよう工夫されている。<⑩>

4. 外的要素に関する観点

製本はしっかりとしており本は開きやすく、ゆったりとした印象である。Unit全体の文字が大きく、行間も広いため読むときの負担感の軽減につながる。イラストや写真も大きく、図表の印刷も鮮明で見やすい。ユニバーサルデザインの観点でも能力に関係なく多くの人が活用しやすいデザインになっている。<①②③④>

5. 構成・配列に関する観点

見開き右ページに単元の基本文が掲載されており、その基礎練習としてSpeaking・Listening・Writingと言語活動ができるように構成されている。また、Unitの学習後にまとめ練習ができるようになっており、既習事項を繰り返し練習できるようになっている。また、各練習には4技能を表すマークがつけられており目標がわかりやすく構成されている。<①②③>

6. 資料その他に関する観点

本文の内容理解のために写真・イラスト・資料性の高い図表などが適切に配置されている。教も適量で、資料性が高く生徒の興味関心を集めるものと思われる。また、CAN-DOLISTが各UNIT-1のタイトルの下に表記しており、単元目標が解りやすくなっている。<①>

外国語
(英語)

教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果

關隆堂

1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

一般的に今日的課題を多く採用し、中学生にとって非常になじみやすく興味を引く内容である。観点において、道徳心・自己の判断で社会性を切り拓くことの重要性、真理や正義・公共の精神を養う題材として(2年 Pro.3 チャリティーウォーク・2年 Pro.8 トルコとの友情【道徳教科書にも掲載】などが)あげられる。また、国際社会の現実・理想、真理や正義の在り方などを教え、近年注目された人物を題材として(3年 Pro.9 Malala's Storyなどが)あげられる。

次に、日本文化に触れているところであるが、2年 Pro.11 白川郷の「結」、3年 Pro.6では伝統的な日本文化について触れている。3年 Pro.5では大阪発祥の回転ずしが海外でも広がり日本文化の拡散を紹介している。<①②③④⑤⑥⑦⑧>。単元ごとのBasic Dialogの習得には基礎基本を重視し、学力の全体的な底上げが期待できる。また、My Projectでは協働学習による活動が期待され、学びあいを通じて4技能の統合やアクティブラーニングにつながるパートとして英語学習には効果的である。1年アルファベットの基軸線やアンダーラインが青線であるのは、色覚障害のある生徒は赤が黒と同じように見えることに対する配慮である。大阪市の目標とする英語の話せる15才の育成や英検取得をめざすバランスの取れた教科書である。<⑨⑩>

2. 教育基本法に基づく観点

題材全般にわたって、語学教育としての技能を身につける教材の側面と、学校教育としての人間形成、豊かな情操と見識、道徳心を持った人間を育成する観点が感じられる。たとえば豊かな情操・心理を求める態度(1年 Pro.7 The Wonderful Oceanなど)、職業と生活・勤労(2年 Pro.6 A What is the Most Important thing to You?など)、環境の保全(1年 Pro.4 リサイクル活動、2年 Pro.7 If You Wish to See a Change、3年 Pro.8 Clean Energy Sourcesなど)、伝統と文化の尊重(2年 Pro.1 Did You Enjoy Your Vacation?、Pro.11 Yoi - To Share is to Live.など)、国際社会の平和(3年 Pro.4 Faithful Elephants、Pro.9 Malala's Storyなど)について教育基本法の観点で扱われている。<①②③④⑥>

3. 学習指導要領に基づく観点

主に単元(Program)と活動(My Project)から構成されており、単元では学年に応じた「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の総合的な能力を育成(習得)し、その能力をMy Projectで実際に使用するコミュニケーション活動を行わせる(活動)ように計画されており、My Projectは3年間を見通したうえで、通算9回設定されている。主に場面特有の表現を扱うPower-upでは、「聞く」「話す」「書く」能力を初歩から集中的に育成するように配列されており、「読む」能力はReadingの単元で扱うように配置されている。<①②③④⑥> Basic Dialogでは、生徒の英語の使用場面について気づきを促すことができる。題材の設定は、1年生は主に日本から始まり、学年とともに欧米に限らない諸外国の風俗文化、自然科学など多様な内容が扱われている。また、日本人の海外の活動を多く扱い、世界の中の日本人としての意識を高められるよう配慮されている。<⑤⑦⑧⑨> 1年冒頭には小学校外国語活動との接続部分の活動が8ページ設定されており、1年1学期の大半は小学校で学んだ1人称・2人称を中心とした言語材料が配置されている。そのことを踏まえた上で、中学校の文字、文法、文型の導入をおこなっている。<⑩>

4. 外的要素に関する観点

製本は屈強な作りである。印刷は鮮明で、文字の大きさ、行間なども学年に応じて配慮され見やすく適切である。イラスト、図表、写真とも柔らかな印象の中に鮮明で見やすい美しい色遣いになっている。図表は資料性が高く、大きさも必要に応じて十分なサイズになっており、本文との関係が分かりやすい位置に配置されている。<①②③④>

5. 構成・配列に関する観点

導入はBasic Dialogとして対話文で提示されており、構造の理解にとどまらず、言語活動を行うように工夫されている。そして、Basic Dialog ⇒ 練習 ⇒ 本文での理解・定着 ⇒ 文法のまとめ ⇒ My Projectでの言語活動と繰り返しを重視している。本文課題には4技能の表示があり、Power Upでは個別の技能を特別の場面に育成できるように構成されている。文法のまとめはBasic Dialog(英語の使い方)と一体となって英語を立体的に理解できるように相互参照が示されている。<①②③>

6. 資料その他に関する観点

図表、イラストなどは適切に情報を補っている。巻末には3年間のCan-Doリスト(英語のできることになる目標リスト)が各巻共通でついている。これにより生徒と教員が共通の目的・目標をもって学習活動に臨み、自己評価の点検日がついており、自分の成長がわかるようになっている。また1年生にはコミュニケーション活動に使える「動詞+名詞」の表現を集めたカードがついている。<①>

外国語
(英語)

教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果

学図

1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

さまざまな国が題材として扱われており、国際理解の視点がよく押さえられており、今日の課題を中心に構成されている。また、我が国の文化を中学生向けにアピールする興味を引く題材が採用され、グローバル化改革を視野に入れたコミュニケーション能力の育成を視野に入れた作りになっている。内容については自由と権利・真理と正義（3年 Lesson 7 The Diary of Anne Franなど）、自己責任（2年 Lesson 5 Career Experienceなど）、公共の精神・豊かな人間性（2年 Reading 2 Red Demon and Blue Demonなど）、グローバル化・我が国の伝統（2年 Lesson 6 Junior High School in the US、1年 Lesson 7 New Year、2年 Lesson 1 A Practice at a Sumo Stable、2年 Lesson 4 Hero in the UK、3年 E-mails from Alaska and Indiaなど）の項目において配慮されている。〈①②③④⑤⑥⑦〉
また、学力の配慮については全編において4技能のバランスの取れた育成が意識され道徳性・特別支援学級への配慮（1年 Reading 2 Brallie【点字】、3年 Lesson 5 Stivie Wonder-The Power of music）およびユニバーサルデザインによる教科書の構成・配列などの点で配慮されている。大阪市の目標である英語の話せる15才の育成や英検取得をめざすためのバランスの取れた教科書である。〈⑧⑨⑩〉

2. 教育基本法に基づく観点

相撲や漫画アニメなど日本の固有の文化を積極的に取り入れている。また特別支援教育の観点からも点字など立体的な紙面を採用するなど独創的である。内容においては豊かな情操と道徳心（2年 Reading 2 Red Demon and Blue Demonなど）、職業及び生活（2年 Lesson 5 Career Experienceなど）、正義と責任・男女平等（2年 Lesson 7 The Daily of Anne Franなど）、生命・自然の尊重（3年 Reading 1 Energy and the Environment）、伝統・文化の尊重（1年 Lesson 6 Junior High School in the US、1年 Lesson 7 New Year、2年 Lesson 1 A Practice at a Sumo Stable、2年 Lesson 4 Hero in the UK・3年 E-mails from Alaska and Indiaなど）で教育基本法に則った人間尊重の精神で構成されている。〈①②③④⑤〉

3. 学習指導要領に基づく観点

音声指導面において、フォニックスを積極的に取り入れている。また会話重視の小学校英語を意識し、一般動詞からの導入になっていることも特徴的であり、積極的にコミュニケーションを図る態度の育成を狙ったものと考えられる。〈①⑩〉
それぞれのChapterではReading（本文）⇒Listening⇒Speaking（コミュニケーション活動）・Writing（題材関連）が統合的に配置され、基本的な英語での4技能の育成ができるよう配慮されている。またActivitiesでは未習語を使わず活動できるよう配慮されているのでスムーズに言語活動に入ることができる。〈②③④⑤〉
Chapter Projectでは習った4技能の表現を使って、自己の気持ちや考えを伝えるコミュニケーション活動が中心となっており、リスニングから入る形でスモールステップで積み重ね学習を意識している点においては小学校外国語活動の音声面の指導と接続している。〈②③④⑤〉また、本文の題材は豊富で、日常生活に始まり、環境、世界遺産、伝統文化、自然科学など他分野にわたり取り入れられている。〈⑦⑧⑨⑩〉

4. 外的要素に関する観点

ラストが本文の内容とよくマッチしており・写真・図案とも大きさ・明るさともに見やすい。製本は頑強で大きく開ける構造になっている。印刷は鮮明で、文字の大きさ行間とも学年に応じて配慮され見やすくユニバーサルデザインの観点においてもよく配慮されている。〈①②③④〉

5. 構成・配列に関する観点

Target Sentences が見開きの右ページの上であり見やすく非常に見やすい。また、それを確認した上でListeningの音声活動に入り、Speaking, Writingの4技能の言語活動と一体で文法事項が学べる。また、単元ごとのCheck It Outでも文法の説明があり、復習するのに適している。見開き左ページに本文とともに新出語句があり、指導しやすい構造である。〈①②③〉

6. 資料その他に関する観点

本文の内容理解のために写真・イラスト・図表などが適切に配置されている。数も適量で資料性が高く、生徒の興味関心を高めるものと思われる。また、Can-Doリストが各単元の表紙に記述してあり、単元の目標が立てやすい構造になっている。〈①〉

外国語
(英語)

教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果

三省堂

1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

自由・平和、責任・正義、人間性・公共の精神などテーマ性の高い題材を多く使用しているのが特徴である(3年 L6 I have a dream キング牧師、2年 Let's read 2 カンボジア地雷除去、3年 L4 The story of Sadako など)。また、主に日本の伝統文化、世界の文化、グローバル化(1年 L2 My School、2年 Let's read 狂言附子、3年 L3 落語・3年 L2 France、3年 Let's read 3 The Story of Nishigori Keiなど)に主眼を置く項目も多く、また、インクルーシブ教育(1年 L3 車いすバスケットボール)を題材にしていることも今日的に幅広く生徒の興味関心を満たす内容である。なお、リーディングの教材が充実しており、USE Read でまとまった内容の英文を読むことができ、しかも1年生後半からある。さらに、全学年付録としてFurther Readingが2~3つある。<①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩>
言語活動においても、知識・技能を習得するだけでなく、一人ひとりのアイデンティティを尊重する題材を通じて協働学習に取り組み、活用的な英語力・論議する力・課題解決する力を育成する構成になっている。大阪市の目標である英語の話せる15才の育成や英検取得をめざすためのバランスの取れた教科書である。<⑪⑫>

2. 教育基本法に基づく観点

教科書における題材は、豊かな情操と道徳心(3年 Let's read 1 Dolphin Taleなど)、社会への主体的な参画(3年 L7 English for meなど)、平和人権の尊重(3年 L6 I have a Dreamなど)、生命や自然の尊重(2年 L3 The Okinawa Islandなど)、自主および自律の精神(3年 Let's read 3 The Story of Nishigori Keiなど)、日本の伝統文化と国際理解(2年 L5 Ululu、3年 L3 Rakugo Goes Overseaなど)で、生徒が生きていく上において必要かつ、興味関心の強い内容を精査している。また言語活動においては実際に生活のメールや手紙・テレビ番組を用いたり、学ぶ意欲を向上させるために、登場人物を自身の人格と重ねあわせやすいように個性的にしたり、長短のサイクルでの学ぶプロセスやポイントを明確にする工夫がなされている。英語のskillの習得と題材を通じてグローバル化に対応し、豊かな人間性を育む構成になっている。<①②③④⑤>

3. 学習指導要領に基づく観点

各LessonやGETにおいて、基礎基本的知識・技能を習得させ、USE (USE READ・USE WRITE・USE SPEAK)において、知識技能を活用できる力を4技能ごとに練習し、確かな英語力を定着させる構成になっている。全編を通じて人権を重視した題材を採用し、基礎的な言語活動<聞く・話す・読む・書くの4技能の総合的な育成>をもって思考力・判断力・表現力を養えるように丁寧な構成になっている。また、「書く」領域では協働学習を軸にすえた活動を行い、「話す」領域では会話に必要なあいさつや、つなぎ言葉を使うことなど工夫された内容が見られる。<①②③④⑤⑥>
また、Projectでは自分で考え、友人の意見を聞き、最後にまとめるという主体的にコミュニケーションをとりながらできるよう作られている。内容は自分の意見か考えを紹介するものになっている。<⑦⑧>
扱う題材には、正義、社会への主体的な参画、平和、自然科学、環境、日本の伝統文化および他国の文化など、幅広く生徒の知的欲求に合致する今日的課題が選ばれ、言語活動においても、手紙、Eメール、テレビ番組など実生活に結びつく内容を扱い、取り組む生徒の意欲を向上させると思われる。<⑨⑩⑪⑫>

4. 外的要素に関する観点

製本は屈強である。また、印刷は非常に鮮明で、行間なども学年に応じて配置されており、ゆったりした構成になっている。イラスト、写真、図案も美しく見やすい構成になっている。文字についても大きくて見やすい。ユニバーサルデザインの観点でもよく配慮されている<①②③④>

5. 構成・配列に関する観点

英語を学ぶことから、英語を使うことへのプロセスを「見える化(4技能のマークにより)」することで、各ページの役割が明確になり、ねらいを意識して学習に取り組むことができる。また、いろいろな場面の中で「読む」「書く」「聞く」「話す」ことを通して、英語を活用する力を総合的に身に付けることができる構成になっている。また、これら言語活動を通じて文法事項が自然に定着するよう構成されており、また、レッスンや学年を超えて文法事項をまとめた「Review」、英語をイメージで理解する「絵でわかる英語のしくみ」、自己表現に使える語彙や表現をまとめた「いろいろな単語」「会話表現」などが授業や自学自習で活用できる。<①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫>

6. 資料その他に関する観点

本文の内容理解のために写真・イラスト・図表などが適切に配置されている。数も適量で、資料性が高く生徒の興味関心を集めるものと思われる。また、表題にはその課の目標が解りやすく明示され、巻末には学年ごとのCAN-DOリストが掲載されている。<①>

外国語
(英語)

教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果

教出

1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点

学校生活に即した身近な題材を1年生では多く取り入れ、2、3年になるにつれ環境・福祉問題、海外から見た日本の姿などトピックを広げており同条例、計画の観点に基づいて同教科書は作成されている。自由と規範意識、権利と責任に関して(3年 Opinion Reading Free the Childrenなど)、自己の判断・責任(2年 Lesson 6 Internshipなど)、真理と正義(3年 Reading Lesson The Diary of Anne Frank)、豊かな人間性(1年 Lesson 8 それぞれの冬休みなど)、グローバル化・我が国の郷土の伝統(1年 Lesson 5 中華街に行こう、1年 Lesson 6 外国の学校と日本の学校、3年 Lesson 2 A School trip to Kyoto, Lesson 3 Our first Rakugo in Englishなど)でテーマを持った題材を選んでいる。<①②③④⑤⑥⑦>
また、学力の向上は着実なEssentialsにおいて学習しやすい配慮がなされ、道徳心・社会性の向上(3年 Lesson 4 Today's Newsなど)、特別支援教育の充実について(2年 Lesson 3 Guide Dogなど)もテーマを持った題材でそれぞれの観点をクリアしている。大阪市の目標である英語の話せる15才の育成や英検取得をめざすためのバランスの取れた教科書である。<⑧⑨⑩>

2. 教育基本法に基づく観点

全体的に道徳心、豊かな情操をもった人間形成と、英語力の向上を目指す教材としてバランスが取れている。また身近な題材で日本と外国の文化の比較をし、生徒たちの興味をそそる題材を多く採用している。教育基本法の観点では、知識・教養、豊かな情操・道徳心(2年 Lesson 6 Internshipなど)、職業および生活の関係(3年 Lesson 6 Why do you have to workなど)、正義と責任・男女の平等(3年 Reading Lesson The Diary of Anne Frankなど)、生命・自然の尊重(2年 Lesson 8 Water Problems)、伝統文化・国際社会(1年 Lesson 5 中華街に行こう、1年 Lesson 6 外国の学校と日本の学校、3年 Lesson 2 A School trip to Kyoto, Lesson 3 Our first Rakugo in Englishなど)がバランス良く配置され、使いやすい教材である。<①②③④⑤>

3. 学習指導要領に基づく観点

日々のLessonを通じて4技能のコミュニケーション能力の基礎を養っているが、3Lessonごとに配置されたProjectでは、統合的な言語活動を通じてのコミュニケーション活動を重点的にを行い、たとえば好きなアニメについて協働学習を通じて、発表につなげていく活動を図っている。発表に至るプロセスが指導する上において、非常にわかりやすく順序立てて取り組めるようになっている。さらに、TipsのコーナーでListening, Reading, Writing, Speakingの4技能の初歩的な力を伸ばす工夫がなされ復習的な家庭学習にも活かせるものとなっている。<①②③④⑤>
教科書に使用されている題材は学校行事や他の教材とも関連させている。したがって生徒がそれらの取組の中で英語を使用したり、授業の中で発表しやすいよう工夫されている。また、日本の伝統文化(食・漫画・落語・俳句)、異文化理解、国際協働と平和を愛する心(手塚治・アンネ)、道徳心(盲導犬)、日本の地域や世界12か国を取り上げ、非常に多くの適切な内容のある題材を幅広く揃えている。<⑥⑦⑧⑨⑩⑪>

4. 外的要素に関する観点



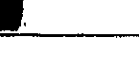
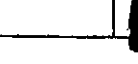
教科書は非常にしっかりとした作りで、教科書末尾にEssentialsが収納されるようになっている。また文字の大きさ、字間、行間は学年ごとに変化をつけており、小学校や高等学校への接続を考えられたものになっている。イラストや写真の色彩が鮮明で見やすい大きさである。全体のデザインやレイアウトが統一されているので、どこに何があるのかもよくわかる構成である。<①②③④>

5. 構成・配列に関する観点

左ページで本文・基本文・ここがポイント(文法説明)・語句・Activityがあり、単元の学習に必要なものがまとめられている。ページ下欄では音に関する注意点が配置されている所が特徴で4技能を意識した作りになっている。
また、単元がHOP-STEP-JUMPと3部構成になっており、HOPではActivityを軸に基本文の定着を図っている。Stepは内容理解のためのヒントがあり、学習前の内容推測を手助けしている。Jumpでは単元の内容理解の確認のactivityであり、学んだことを活用し復習する。<①②③>

6. 資料その他に関する観点

別冊としてEssentialsがついている。赤色マスキングシートがついており、教科書と連動して単語・文法・本文の復習が効果的にできるようになっている。写真・イラスト・資料性の高い図表なども見やすく適切である。また、見開き部分にCAN-DOリストがあり目標設定しやすくなっている。<①>

外国語 (英語)		教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果			
光村					
<p>1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</p> <p>すべてのUnitにおいて4人の登場人物が3年間固定されており、さまざまな中学校生活における、内面的・社会的課題に向き合いながらその学齢に応じた成長をしていく設定であり、学校生活を中心に「自由や規範、自己責任、真理正義、道徳心、協力、健康問題、自国他国の文化など」について学んでいく。また、4人の登場人物は日本・アジア・欧米の出身であり、それぞれの文化圏のトピックをふんだん取り入れている。(1年次は主に日本文化 Unit 5 A Summer Festival, Unit 10 Happy New year, Unit 11 Tina in Japan, 2年次に異文化理解 Unit 1 Tina's Speech, Unit 3, 4 New York関連) <①②③④⑤⑥⑦⑧></p> <p>また、平和の大切さ(2年 Unit 5 Aya's Time in Okinawaなど)、生命の尊重(2年 Unit 2 Nick Helps a dogなど)、キャリア教育(3年 Unit 5 Dreams For the futureなど)、環境問題(3年 Unit 6 Tina's Students News-Net, 3年 Let's Read 4 Changing the Worldなど)と、バランスのとれた内容の題材である。全体的にリーディング教材が豊富でLet's Read およびLet's read moreでは、1年3パート・2年4パート・3年8パートと多量を視野に入れている。大阪市の目標である英語の話せる15才の育成や英検取得をめざすためのバランスの取れた教科書である。<⑧⑨></p>					
<p>2. 教育基本法に基づく観点</p> <p>教育基本法の理念を踏まえ、幅広い知識と教養を身につけ、思考力・判断力・表現力やグローバル社会における英語力をつけるためだけでなく、自主自律の精神(1年 Unit 6, 2年 Unit 7, 8, 3年 Unit 7など)、正義・平和・平等(2年 Unit 5 Aya's Time in Okinawa, 3年 Let's read 2 Visas for 6000 Lives, 3年 A Guest from Cambodiaなど)、生命・自然の尊さ・福祉(2年 Unit 2 Nick Helps a dog, 2年 Unit 8 A Therapy Dogなど)、我が国の伝統と文化の敬愛・異文化理解(3年 Unit 2 How do you see Japan, Unit 3 Our School Tripなど)においてバランスよく配置され総合的な人格を伴う生きる力を育む構成になっている。<①②③④⑤></p>					
<p>3. 学習指導要領に基づく観点</p> <p>Unit 最初のページStart-upが用いられている。単元の目標が解りやすく明示されているとともに、Listeningを通じて単元の大まかな内容理解をさせることができるのが特徴である。Listeningから入るといふ点は小学校外国語活動との接続に非常に効果的である。また、本文内容では見開きで4技能のコミュニケーション力の基礎を養えるよう配慮されている。<①②③④⑤⑥></p> <p>題材選定においては、登場キャラクターの学校生活が道徳的見地で書かれており、また神髄のこなどを通じて平和の大切さというグローバルな視点で書かれており、読み物教材においても科学・福祉・環境問題など充実したものとなっている。<⑦⑧⑨⑩></p> <p>You can do it では身近なことを関連させた内容になっており場面設定が明確で具体的である。さらにGo for itでは学校行事に関連させたもので、実際の取組で英語を活用するプロジェクト方の内容になっている。Skit timeでは本文の配列に工夫がある。また、統合型練習のCLILの内容が充実しており、教科の枠を超えた学習が可能である。いずれも丁寧に活動が進むような作りになっている。<⑥></p>					
<p>4. 外的要素に関する観点</p> <p>文字の大きさ、字間、行間は学年ごとに変化をつけており、しっかりと見やすい。小学校・高等学校間の接続を考えたものとなっている。表紙や製本、紙質もしっかりとした構造であり、耐久性に優れている。また、色覚特性のある生徒に対する配慮や、文法説明の部分などでは主語・動詞を色だけでなく囲み形を変えることや、さまざまなマークについても識別がしやすくなるようにユニバーサルデザインの観点でも見やすい構成になっている。<①②③④></p>					
<p>5. 構成・配列に関する観点</p> <p>全体を通じてCAN-DOを意識した目標が設定されており、目標設定と手順がわかりやすい。基本Unitは3つのパートからなっている。Unitの終わりにはYou can do it を設けUnitで学んだ内容を言語活動で練習し定着を図っている。各学期おわりごろのGo for itで自主表現活動を行い、Let's Read でまとまった文書を読み、各UnitのTry itではListening ⇒ Drill ⇒ Speaking, Writingのように段階的に4技能の統合ができるよう明確な印をつけた言語活動を行っている。<③></p> <p>またLanguage FocusやWord Net-work, Sound Focus, Skit timeなどを使って学習事項を整理できる構成になっているが、全体を通じて言語活動を通した文法事項が無理なく学べるようになっている。<①②></p>					
<p>6. 資料その他に関する観点</p> <p>特に登場人物のイラストは3年間すべてのUNITに登場し、非常に中学生になじみやすいキャラクターになっている。また、教科書内で使われている資料は資料性の高い図表が使われている。また写真もリアルで見やすい。また、CAN-DOリストは各UNITの下に表記され、単元の目標が解りやすく作られている。<①></p>					